

平成 28 年 12 月 1 日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 田中 勝英
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



太陽生命、スマートフォンアプリを活用した 「歩行速度測定社会実験」に協賛

T & D 保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 田中勝英）は、北海道伊達市と株式会社 InfoDeliver が協働で実施する「歩行速度測定社会実験」に協賛しますのでお知らせいたします。

当社は、「健康寿命の延伸」という社会的課題にこたえるため、本年 6 月より「太陽の元気プロジェクト」を開始し、「従業員」「お客様」「社会」を元気にする取り組みを推進しています。その一環として、同 10 月に、株式会社 InfoDeliver と共同で、歩行速度を継続的に測定し、認知症・MC I（軽度認知障害）のリスク予兆が発見された場合に本人とそのご家族に通知する国内初^(※)のスマートフォンアプリ『認知症予防アプリ』の当社のお客様（被保険者）への提供を開始しました。

この度、北海道伊達市において「歩行速度測定社会実験」が行われます。これは、『認知症予防アプリ』と同じ歩行速度測定システムを搭載したスマートフォンを、北海道伊達市に居住している 60 歳以上の参加者に貸与し、「歩行速度およびその変化」と「医療費」の相関関係を分析するものです。あわせて、参加者に対する運動指導を実施し、運動習慣等の改善による健康増進効果が歩行速度によって定量的に測定できることを検証します。この実験への協賛により、地域社会の「健康寿命延伸」の取り組みに貢献したいと考えています。

当社は、これからも、「太陽の元気プロジェクト」のもと、認知症をはじめとする高齢社会の課題に対応した様々な取り組みを推進してまいります。

(※) スマートフォンで歩行速度の変化を測定し、認知症・MC I の予防に繋げるアプリは国内初となります (InfoDeliver 調べ)。



認知症治療保険 働けなくなったときの保険



北海道伊達市における歩行速度測定社会実験の概要

- ・実施目的： スマートフォンで測定する歩行速度と、医療費の相関関係を確認する。
また、運動習慣等の改善による健康増進効果が歩行速度によって定量的に測定可能なことを検証する。
- ・実施時期： 2016年12月から
- ・対象者： 60歳以上の伊達市在住の市民の参加者（ただし、国民健康保険または後期高齢者医療制度の加入者）
（なお、取得したデータは、匿名データとして統計分析処理されます。）
- ・実験運営： 北海道伊達市、株式会社 InfoDeliver
- ・実験指導： 独立地方行政法人東京都健康長寿医療センター 大淵修一医学博士
- ・協賛： 太陽生命保険株式会社
- ・分析業務協力： 健康寿命デザイン株式会社、順風路株式会社
- ・使用するスマートフォン端末：
arrows M03（富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社製）

以 上